

TSPが再生エネ制度を背景に

## メガソーラー事業を提案

ニュービジネスコンサルタント等の⑧ティーエスピー(南区出汐一丁目一七―二五、多田多延子社長)は、大規模な太陽光発電システムを確立するメガソーラー事業の提案に注力する。

七月に始まる再生可能エネルギーの全量買い取り制度が発電事業者の利益を確定し、再生可能エネルギーの普及・拡大のための税制措置により七月一日―来年三月末までに当該設備を取得し事業化した場合には特別償却(一〇〇%即時償却)ができる。国策とも言える好条件を背景に、休耕地や耕作放棄地、遊休地などの土地を有効に活用できるメガソーラー事業を提案する。同一電力会社であれば、いくつかの土地を合わせて総面積での活用も可能で、安心・安全なエネルギー確保による地域社会への貢献を促す。

同社は、通常の太陽光パネルのほか、全方位から光を収集し高い発電効率を発揮する「円筒

形太陽光発電CIGSモジュール」も扱っている。この円筒形モジュールは、建物の方位に影響されず、風・熱・影・汚れ・塩害・自然災害などに優れた耐久性があり、設置や移動、増設も簡単。また、通常の板状パネルと違い円筒を並べた形状のパネルなので、円筒の間から太陽光が入りパネルの下で作物を栽培することも可能という。「充電ビジネスの組み立て方やSPC(特定目的会社)設立、助成金(国・地方自治体)の活用方法等、様々な全国の事例をもとに最適な事業展開を提案したい」(多田社長)と意欲を示す。電話 二五三一〇五二八。